



カムリウミスズメ

門川町教育研究所

ふれあい

平成22年12月NO7
発行 門川町教育研究所
所長 斉藤 義輝
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

教育研究所おすすめ、学力をつける勉強のコツ！

家庭で子どもが勉強をされていて、勉強の仕方がわからない、勉強するけど成績が上がらない、といったことはありませんか。また、そのために勉強をする気になれない、勉強をしない、ということはありませんか。今回の「ふれあい7号」では、家庭で勉強して学力をあげるコツや子どもにかける魔法の言葉について、教育研究所おすすめの工夫を紹介します。

勉強のコツ1

目・耳・手を使って、しっかり勉強しよう！



声に出す 大切なことは、何度も声に出して覚えます。

線を引く 色分けして線を引き、一目でわかるようにします。

書き出す 2度・3度書いて覚えます。

押さえる 押さえて読む、書くようにします。

体を使って、2度・3度と繰り返して覚えます。



目だけを使って勉強すると単調になり、なかなか身につけません。読んだつもりでも読めていません。口や手、耳などの体を使って勉強することが大切です。

勉強のコツ2

問題を解いたら、必ず答え合わせをしよう！



問題を解いた時、漢字練習や計算練習をした時など、答え合わせをしないと、間違っただまになります。答え合わせをして、はじめて勉強ができたことになります。

- * 小学校低学年では、親が丸つけをしてやりましょう。
- * 小学校高学年や中学校では、自分で丸つけをしましょう。
- * 間違ったところは、もういちど練習しましょう。

問題を解いても答え合わせをしないと、理解できているかどうかかわかりません。答え合わせをして、はじめてそれがわかり、勉強したことになります。

勉強のコツ3

繰り返し練習をして、しっかり覚えよう！



一度学習して、全部覚えることはできません。次の日には半分を忘れます。3日目は、さらにその半分を忘れます。繰り返し練習して、しっかり覚えることが大切です。

- * 読む時は、3回読みましょう。
- * 書く時は、2回書きましょう。
- * 線を引いたら、声に出して2回読みましょう。
- * さらに、何日かおいてもう一度練習しましょう。

しっかり身につけるためには、何度も読んだり、書いたりして練習することが欠かせません。また、何日か間をおいて、もう一度練習することも大切です。

勉強のコツ4

まちがいは、必ずもう一度やりなおそう！



まちがえた時こそ、正しい知識や方法を身につけるチャンスです。何をまちがえたか、どこでまちがえたかを考えてやり直し、次にまちがいをしないようにすることこそが一番大切です。

- * 読みまちがっていないか。
- * 条件を見落としていないか。
- * 計算をまちがっていないか。
- * 字がまちがっていないか。
- * 考え方をまちがっていないか。
- * 求めるものをまちがっていないか。など

まちがえたら×（バツ）をつけて、それで終わっていませんか。正しい方法で2～3度練習して正しい知識を身につけないと、学力をしっかりと伸ばすことはできません。

家庭教育「ちょっとした言葉の工夫」

魔法の言葉「呼びかけ法」で子どもの学力を伸ばしましょう！

魔法の言葉1

ほめる言葉かけ

勉強で一番大切なことは、やる気と、やり抜く力です。ほめる言葉かけで育てることができます。

- ・ まちがえずに読めるようになったね。
- ・ むずかしい言葉をよく知ってるね。
- ・ 片づけがじょうずだね。
- ・ 勉強をがんばってるね。

などの、できるようになったことやがんばっていることをほめることで、子どものやる気に火をつけることができます。

魔法の言葉2

考えさせる言葉かけ

正解を教えただけでは、その場かぎりの勉強になり、身につけません。どこがまちがっているのか、どこをがんばればよいのかを気づかせる言葉かけが大切です。

- ・ 今は、何の勉強をしているのかな。
- ・ 4の段のかけ算を言ってみて。
- ・ もう一度文章を読んでみて。
- ・ 何を知りたいのかな。

などの、考えさせ、気づかせる言葉かけで気づかせ、解決させます。



教育研究所からのメッセージ

「勉強をする気がしない」、「勉強が長続きしない」、「勉強してもなかなかかわるようにならない」といった声がよく聞かれます。それは、本人にやる気がないのではなく、勉強の方法がまちがっているのかもしれません。また、親の子どもへの勉強への関わり方がまちがっているのかも知れません。子どもは自然に勉強ができるようになり、学力が身につくわけではありません。年齢や学年に応じて、勉強をするように直接導いたり、間接的に環境を整えたりしていくことが大切です。

今回紹介した「勉強のコツ」や「魔法の言葉かけ」を、家庭でもぜひ取り組んでみてください。毎日の小さなことの積み重ねですが、きっと子どもたちの将来をきりひらく「確かな学力」を身につけさせることができます。

子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
63-1566

~~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）~~~~~